



かがやけ憲法 キャラバンニュース

山口 広島 島根 鳥取 岡山 北海道 青森 岩手 秋田

「憲法を守り、いかに」一点での共同を

11/11 岡山

秘密保護法で昼デモ

鳥取県から岡山県入りした全国キャラバンは11月11日、岡山駅ビックカメラ前での早朝宣伝からスタートしました。寒風が吹きつけるなか、早朝にもかかわらず岡山県労会議の花田議長、伊原事務局長をはじめ21人が参加。宣伝カーから、伊原事務局長、全労連の渡辺事務局長が訴えました。両氏とも11日から審議入りする「特定秘密保護法案」についてふれ、安倍政権が集団自衛権の行使、改憲など「戦争する国づくり」にむけた狙いがあると指摘。同時に国民の知る権利を侵し、情報公開制度を形がい化するものであり、今国会での強行成立を狙う安倍政権に対し、共同の力で廃案をめざそうと訴えました。また憲法が私たちの生活に大きく根付いているなかで、憲法がさまざまな形で歪められ、なし崩し的に改悪されようとしていると指摘。「憲法を守り、いかに」という一点での、国民的共同をよびかけました。

宣伝行動では憲法チラシ入りのティッシュを約1時間で1000個、配布しました。

早朝宣伝を皮切りにアリスの広場前、岡山駅西口、岡山市役所前、イトーヨーカドー前等で宣伝、署名行動がおこなわれました。

昼には、岡山駅中国銀行前からの「特定秘密保護法反対」の緊急昼デモには、労組、民主団体から60人が参加(写真)。廃案を求めて市民にアピールしました。

夕方の岡山市内での宣伝カーによる流し宣伝のあと、第2日目の倉敷市へ移動しました。



11/11 岡山(2日目)

倉敷市、総社市、笠岡市で宣伝

キャラバン2日目は、7時30分からの倉敷駅宣伝からスタート。県労会議の伊原事務局長、弓田事務局長をはじめ地元地区労連の協力を得て、12人が参加。約1時間で700個のチラシ入りティッシュを配布しました。



その後、倉敷市役所前、総社市役所前、県内最西端の笠岡市役所前での宣伝を終え、岡山でのキャラバン日程を無事終了し、瀬戸内海を渡り夕方、香川県に入りました。

なお、2日間にわたる岡山の行動は、11カ所で署名・宣伝行動、デモを行い、のべ180人が参加。3200枚のチラシを配布しました。

11/11 秋田

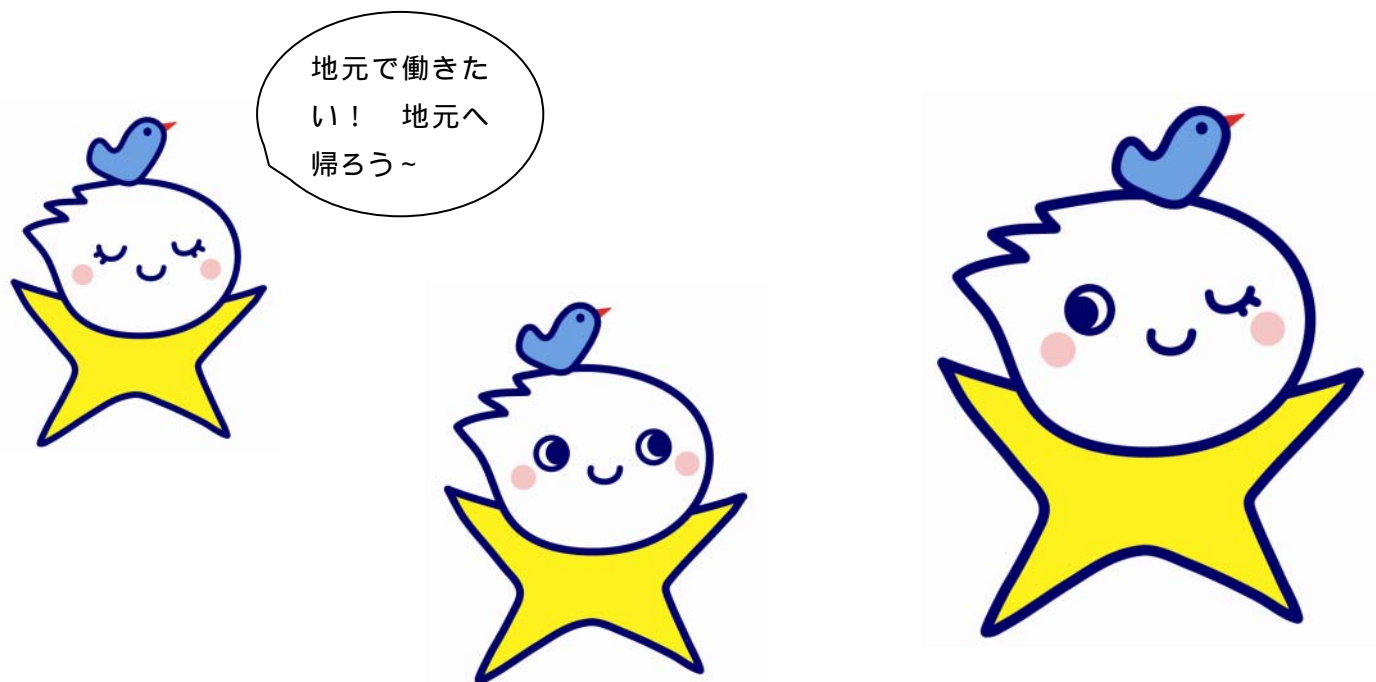
キャラバンにあわせ 25 自治体を訪問

11月11日、北海道・東北・関東越コースは、秋田に入りました。雪が降るなかでの宣伝行動、県庁、労働局への要請、経営者協会との懇談を行いました。

秋田では、憲法キャラバンに合わせて、県内25市町村を回りました。その中で、「地域の雇用の安定」「労働者が安心して将来を展望できるように」「即戦力・使い捨てていいのか」などの話しがされました。

働く人びとの実態は、県内では30%がパート労働者で勤続年数が増え、年齢が上がっています。県南地域では、求人があっても介護などで、雇用のミスマッチがあり、賃金が安く苦勞しています。また、高校生の求人が500人以上増えましたが、50%が県外への志望でマッチングしていません。労働相談は、年間、県労連に300人、労働局に8000人からの相談が寄せられています。県内の人口は減っています。若い人は地元でいたいと思っても、雇用関係の悪化や賃金が安く県内にいられないのです。最賃は上がりましたが、665円です。

地元での雇用が充実し、地元で働きたいと思えるようにすることが重要です。



全国縦断キャラバン²2013